

162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3
Tel 03-3203-4581, Fax 03-3203-4582,
郵便振替口座：00130-1-11325, みずほ銀行早稲田支店普通預金 1150684

JP-162-0042 Tokyo-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
rete: esperanto@jei.or.jp TTT: [http:// www.jei.or.jp](http://www.jei.or.jp)
uea-konto:jeia-b

広報委員会 2016.06.01

シリーズ「エスペラントの今」 No. 6

エスペラントの現状を様々な面からご紹介するシリーズの第 6 回目をお届けします。ご質問、取材問い合わせ等は、当協会広報委員会までお願いします。

■エスペラント版ヨーロッパ共通参照枠試験、6月4日東京で実施へ

EU 欧州評議会がヨーロッパ共通で使えるよう考え出した、言語教育と評価の方法のガイドラインである CEFR (Common European Framework of Reference for Languages ヨーロッパ共通参照枠)。日本では、2012 年から NHK が語学番組のレベル表記に使用し始めてよく耳にするようになりました。言語知識の豊富さではなく、実際に「聞く、話す、読む、書く」ことができる技能の達成度を重視したもので、初心者の A1 から、ネイティブに近いレベルの C2 まで段階別に評価するものです。このガイドラインに基づいた語学試験が CEFR 試験で、履歴書に「CEFR で〇〇レベル」と書けば、EU 内のどこでも通用する資格です。

エスペラントの実力を測る試験として、CEFR のエスペラント版である KER (Komuna Eŭropa Referenckadro) 試験は、2008 年から B1, B2, C1 レベルで実施されており、最初はヨーロッパでのみ受験が可能でしたが、2012 年から「世界一斉 KER 試験」が始まり、今年第 5 回目の世界一斉試験が行われます。世界一斉とはいえ、ヨーロッパ・アフリカ・アジア・オセアニア地区と南北アメリカ地区の 2 ブロックに分けて、同日同時刻に試験開始というものです。時差を考慮し、パリやロンドンで午前 9 時、東京は午後 4 時から試験開始、北米と南米は翌日実施というスケジュールで行われます。

2012 年の第 1 回目の「世界一斉 KER 試験」は、19 か国の 29 都市で実施され、東京では 14 人が受験しました。その後、東京と大阪で各 2 回ずつ試験が行われ、受験者総数は 50 人近くになりました。世界の各地で、エスペラント学習者が同じ時間に同じ試験を受けているという光景は他の言語の試験ではあまり考えられないのではないのでしょうか。世界一斉試験では、通常筆記試験のみ行われますが、一部では会話試験、聴解試験も行われることがあります。

2016 年は 6 月 4 日 (土) 午後 4 時から、東京早稲田の日本エスペラント協会第 5 回目が行われ、6 人が受験予定になっています。今年ヨーロッパ、北米、南米、アジアの 11 か国 15 都市での開催ですが、過去 4 回ではクアラルンプール、北京、西安、ソウル、プサンなど、アジア各地でも試験が行われました。

厳密な意味ではネイティブの話者がいないエスペラントですが、ヨーロッパでは普通の言語として扱われる場面が増えています。語学ビジネスでもエスペラントを取り上げる企業があり、エスペラントを使用したウェブサイトも数多くあります。ヨーロッパ共通参照枠の扱う言語の一つにエスペラントが入っているのも偶然ではありません。